

令和 5 年度 事業 報告

令和 5 年度は、「みんなでつくろう安心の街」を合い言葉に、事業計画に基づき、警察をはじめ関係機関・団体等との緊密な連携のもと、地域安全活動をはじめ、幼児誘拐防止活動、県民に身近な重点抑止犯罪の被害防止対策、少年非行防止及び健全育成活動等各事業を推進したが、その状況は次のとおりである。

第 1 会議の開催等

1 理事会

第 1 回 令和 5 年 5 月 1 2 日（金）令和 4 年度事業報告、収支決算報告等

第 2 回 令和 6 年 3 月 2 2 日（金）令和 6 年度事業計画（案）、収支予算（案）等

2 定時総会

令和 5 年 5 月 2 6 日（金）宇都宮市昭和一丁目「ニューみくら」において令和 5 年度定時総会を開催し、令和 4 年度事業報告、収支決算報告及び役員の一部改選（案）について審議を行い、それぞれ可決された。

3 全国防犯協会専務理事・事務局長会議

令和 5 年 8 月 4 日（金）東京都文京区の「ホテルガーデンパレス」で開催され、専務理事が出席した。

4 栃木県防犯連絡協議会連合会定例理事会

令和 5 年 6 月 9 日（金）警察本部において開催し、警察本部から「県内の治安情勢と地域安全活動の進捗状況について」説明があり、その後、「今後の防犯連絡所の運営に関する課題について」討議を行った。

5 関東防犯協会連絡協議会総会

令和 5 年 7 月 5 日（水）埼玉県さいたま市の関東管区警察局で開催され、専務理事が代理出席した。

第 2 防犯意識及び防犯諸対策向上のための啓発事業

1 啓発資料等の作成・配布及びホームページによる啓発

現在の犯罪情勢に対応した各種啓発・広報資料を作成し、地区防犯協会、自主防犯ボランティア団体、少年関係団体、警察署等を通じ、

・「全国地域安全運動」（毎年 1 0 月 1 1 日から 2 0 日までの 1 0 日間実施）

・「年末・年始地域安全運動」（年末年始特別警戒）

・「青少年の非行問題に取り組む全国強調月間」

等の機会をとらえ、これら啓発資料を配布し、防犯意識の高揚と防犯諸対策の活性化を図った。

また、より多くの県民に防犯対策情報を発信するため、当協会のインターネットホームページを活用し、犯罪情勢に対応した迅速な情報の発信に努めた。

2 「地域安全県民のつどい」の開催

令和5年10月18日（水）宇都宮市野沢町所在のパーティとちぎ男女共同参画センターホールにおいて「第48回地域安全県民のつどい」を開催し、約150名の関係者が参加した。席上、全国防犯協会連合会表彰（金章）受賞者等の紹介、防犯功労者・功労団体並びに防犯ポスター入選者等の表彰を行った後、「みんなでつくろう安心の街」を合言葉に、安全で安心な「とちぎ」の未来を守るため、これからも努力するとの宣言を満場一致で採択し閉会した。

3 防犯ボランティア団体等の支援事業

地域における自主防犯パトロール活動を促進し、活性化するために、自主防犯パトロール団体、防犯連絡協議会、少年指導委員等に対して、防犯グッズ等の案内や配布、活動資金の一部支援の他、広報資料のあっせんを行った。

第3 防犯対策の調査研究

- 1 当協会の各種事業を効果的に推進するため、犯罪統計、少年非行、多発する犯罪の情報、地域安全活動に関する情報を収集し、当協会のホームページや機関紙、冊子、チラシ等を通じて地区防犯協会、賛助会員等県民に広く周知した。
- 2 当協会女性部の活動として、令和5年10月24日（火）、群馬県吾妻郡草津町草津所在のホテル一井において、群馬・茨城県女性部との北関東三県合同研修会を開催し、コロナ禍における活動実績及び今後の活動方針等について情報交換を行い、他県の活動手法について調査研究した。

第4 防犯功労者及び防犯功労団体の表彰事業

1 栃木県防犯協会長表彰等

地域における防犯活動の意義を啓発し、県民の士気を一層高めるために、多年にわたり防犯思想の普及高揚等地域における防犯・地域安全に尽力し、犯罪の抑止に多大な功労のあった個人や団体を防犯功労者又は防犯功労団体として、当協会長と警察本部長が連名で「地域安全県民のつどい」において表彰した。

また、関東防犯協会連絡協議会表彰、全国防犯協会表彰についても、審査・選考の結果、上申した。

2 地域安全ポスターコンクールの開催

若い世代から防犯意識を高揚、定着させるため、小・中・高校生を対象とした地域安全ポスターコンクールを開催した。

作品は、窃盗・特殊詐欺の被害防止、少年非行・薬物乱用の防止などをテーマに募集した。

応募作品は、各警察署単位で審査会を行い優秀作品を選考し、更に、これら優秀作品を警察本部に集め、警察本部、当協会、関係団体及びマスコミ代表により審査会を行い県の優秀作品を決定し、「地域安全県民のつどい」時に表彰を行った。

【 令和5年度表彰 】

1 警察庁長官、全国防犯協会連合会長表彰

令和5年9月28日（木）東京都の明治記念館において開催された「全国地域安全運動中央大会」において、県内から

防犯栄誉金章	1名
防犯功労団体	1団体
功労ボランティア団体	1団体
防犯栄誉銀章	2名
防犯栄誉銅章	6名

がそれぞれ表彰を受けた。

2 関東管区警察局長、関東防犯協会連絡協議会長表彰

令和5年10月18日（水）宇都宮市パーティホールにおいて開催された「第48回地域安全県民のつどい」において

防犯功労者	6名
特別功労者	1名
防犯功労団体	2団体
特別功労団体	1団体

がそれぞれ表彰を受けた。

3 栃木県警察本部長、公益社団法人栃木県防犯協会会長表彰

令和5年10月18日（水）宇都宮市パーティホールにおいて開催された「第48回地域安全県民のつどい」において

防犯功労者	30名
防犯功労団体	30団体
功労ボランティア団体	48団体
優良防犯連絡所	48箇所
優良少年指導委員	29名
防犯ポスター・地域安全マップ入選者	28名
優良賛助会員（感謝状）	43社・団体

がそれぞれ表彰を受けた。

第5 幼児誘拐防止巡回指導事業

全国的に幼児誘拐事件の発生が危惧されるなか、この種事件を防止するには、幼児期から誘拐犯罪に対する防犯意識を園児に直接植え付けることが大きな効果を発揮することから、当協会の専従職員が年間を通じ計画的に県内の幼稚園、保育園を対象に幼児誘拐防止巡回指導を実施した。

1 幼児誘拐防止巡回指導の実施

令和5年度中は、幼稚園・保育園等218カ所において、園児・保護者等30,491人を対象に巡回指導を実施した。

2 幼児誘拐防止資料の配付等

- (1) 遊びながら誘拐防止意識を高める「めいろ」及び「ぬりえ」を作成し、巡回指導時に園児に配布して活用した。(通年)
- (2) 保護者の防犯意識を高めるため、「まもるごう防犯教室資料」(保護者用)を作成し、保護者に配布した。(通年)
- (3) 地域の防犯意識を高めるため、機関誌「ぼうはん栃木」を作成し、各警察署、関係機関団体に配布した。(通年)

【 各市町別巡回指導結果 】

市町名	実施園数	人数	市町名	実施園数	人数
宇都宮市	58	9,569	下野市	7	946
足利市	16	1,714	上三川町	3	354
栃木市	14	1,929	益子町	3	192
佐野市	12	1,846	茂木町	1	74
鹿沼市	11	1,328	市貝町	3	220
日光市	10	695	芳賀町	2	333
小山市	20	2,836	壬生町	2	356
真岡市	9	1,062	野木町	2	438
大田原市	9	1,306	塩谷町	2	169
矢板市	5	665	高根沢町	4	565
那須塩原市	14	2,198	那須町	3	340
さくら市	4	883	那珂川町	1	158
那須烏山市	3	315	計	218	30,491

*人数は、園児、担当職員等を含む

第6 自転車防犯対策事業

県民の身近で発生する自転車の盗難防止と盗難に遭った自転車の早期回復を図るため、自転車防犯登録制度の普及に努めた。また盗難被害が急増していることに鑑み、二重ロックの必要性を強く訴えた。

当協会の自転車防犯登録業務は、自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律に基づき、県公安委員会から指定を受けているもので、警察及び販売店との連携を密にし、迅速・適正な登録業務を推進した。

第7 風俗環境浄化意識向上事業

当協会は、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律（以下「風営適正化法」という。）により「風俗環境浄化協会」として栃木県公安委員会から指定を受けており、善良な風俗の保持及び風俗環境の浄化並びに青少年の健全育成を害する犯罪防止等に努めた。

1 風俗営業管理者講習

実施回数 12回（県内各会場） 受講者 174名

実施期間 令和5年9月7日～11月29日

2 風俗営業許可申請に伴う現地調査

風営適正化法に定める風俗営業許可現地調査について、県公安委員会の委託事業として年間を通じ実施した。

実施件数 109件

実施期間 令和5年4月10日～令和6年3月28日

第8 古物商許可標識等発行取次事業

古物営業者に対する古物商許可標識及び古物商行商従業者証等のあっせんについては、令和5年度中に次の数量を希望者に取り次ぎした。

- 古物商許可標識 164枚
- 古物行商従業者証 82枚
- 古物台帳 84冊